

国家検定

# 機械保全技能検定

機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業

## オフィシャルガイド

**毎年3万人以上の受検実績!!**「ものづくり分野」の技能検定で  
受検者数 No.1**受検者数累計102万人を突破!!**

厚生労働大臣指定試験機関

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

# 技能検定ってなに？機械保全技能検定とは？

## 技能検定

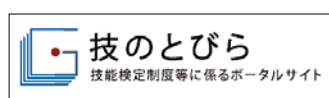
技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。

機械保全をはじめ、機械加工、建築大工、ファイナンシャルプランナーなど、全部で133職種（2025年2月時点）の試験があります。試験に合格すると合格証書が交付され、「技能士」と名乗ることができます。

※「技能検定制度」について、詳細は厚生労働省ホームページ、技のとびらホームページでご確認ください。



<https://www.mhlw.go.jp/>



<http://www.waza.javada.or.jp/>

## 機械保全技能検定

機械保全とは、機械単体の保全ではなく、工場の設備機械の故障や劣化を予防し、機械の正常な運転を維持し保全するために重要な仕事で、各種製造現場の共通的な作業です。

機械保全技能検定は、機械の保全に必要な技能・知識を対象として実施いたします。

### <機械保全技能を評価する唯一の国家検定>

すべての製造現場で欠かせない設備機械の故障劣化予防や、正常運転を維持するうえで重要な保全作業であり、この保全作業の技能を評価する唯一の「国家検定」です。

### <「機械保全技能士」として名乗れる>

機械保全技能検定に合格すると「機械保全技能士」として名乗ることができます。

技能検定の合格者は、「技能士」と称することができる名称独占資格です。

合格者は名刺などに記載し、「技能士」を名乗ることが可能です。

※合格者以外の方は「技能士」を名乗れません

#### ●技能士の記載方法

等級-機械保全技能士(作業名) ※( )は省略可

例・日本語) 1級機械保全技能士(電気系保全作業)

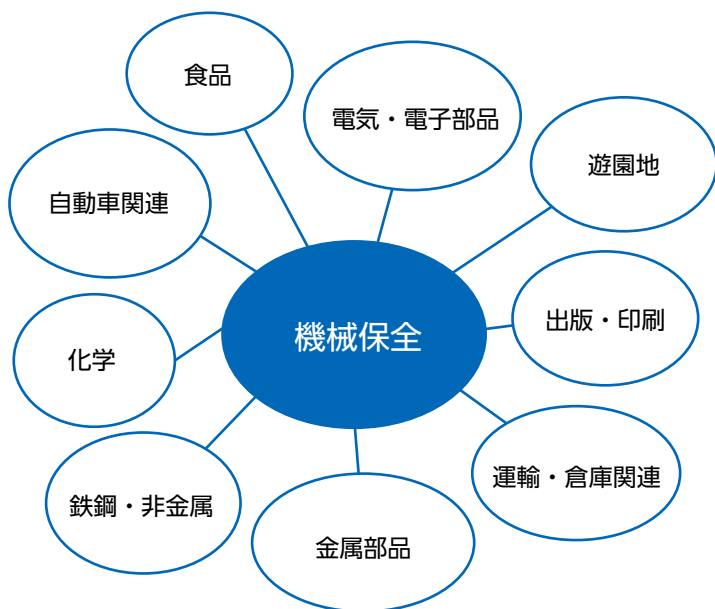
例・英語) 1st grade Certified Skilled Worker of Machine maintenance (Electricity Course)

### <機械保全に関する業務の例>

- ・ 機械、設備の保全計画の作成
- ・ 機械、設備の異常時の対応
- ・ 機械、設備状況の測定データの解析および判定
- ・ 機械、設備の保全に関する訓練、教育の指導および研究
- ・ 機械、設備に生ずる欠陥の発見
- ・ 機械、設備状況の測定データの収集
- ・ 機械、設備の保全方法の決定および処置
- ・ 機械、設備の保全に関する訓練、教育を受講

# 機械保全技能士はどんな人が受検するの？

## 幅広い分野での利用



- ・受検者数：約3万人/年
- ・団体数：約2,500団体/年

⇒機械保全に関する業務の例 (P1 参照) に該当する製造業を中心とした様々な分野で「保全」の重要性を高く評価

⇒「保全」担当や「オペレーター」の方も利用

## 機械保全技能検定にチャレンジ

### 【専門的な知識を持つ管理・監督者】

管理監督者として専門的な知識を習得することで保全分野に関する信頼度はぐんと上がります！



### 特級

必要な実務経験年数：1級合格後5年以上

受検者数：約700人/年

合格率：15～25%

### 【高度な知識を持つリーダー的役割】

チームの中心あるいはリーダーとして部下の育成・指導するためにも高度な知識を習得しよう！



### 1級

必要な実務経験年数：7年以上

受検者数：約9,000人/年

合格率：25～35%

### 【基礎的な知識を持つ現場担当者】

まずは現場で求められる最低限の知識を習得しよう！



### 2級

必要な実務経験年数：2年以上

受検者数：約13,000人/年

合格率：30～40%

### 【新入社員や機械保全を学ぶ学生】

就職活動にも活かせる3級は学生のうちに合格しよう！



### 3級

必要な実務経験年数：問わない

受検者数：約7,000人/年




合格率：70～80%

※受検に必要な実務経験年数は、学歴や職業訓練受講履歴などに応じて短縮されます  
詳細は、<https://www.kikaihozenshi.jp/points/#pointsLink02>

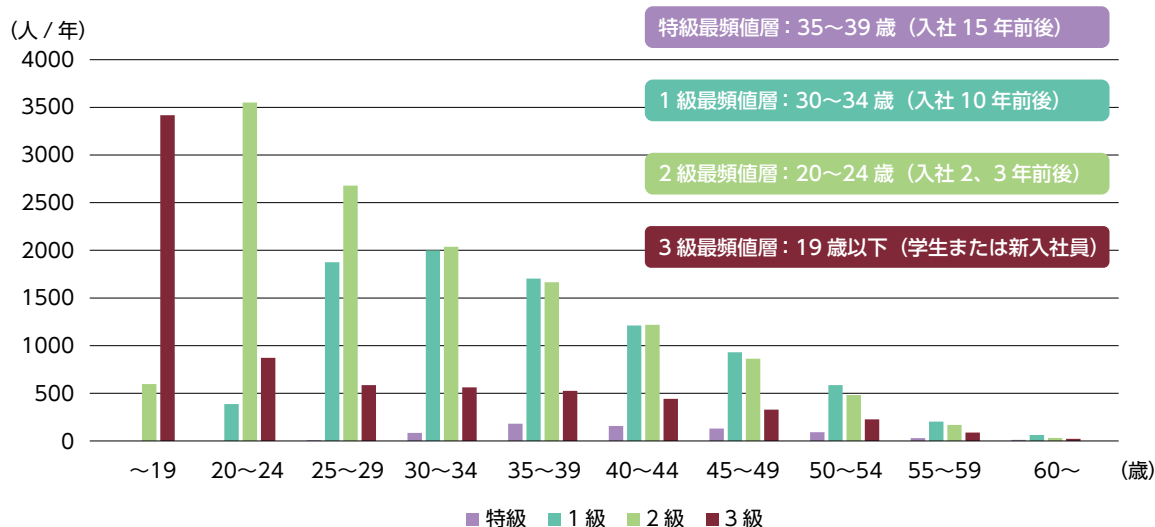
# 機械保全技能検定における等級別の人物像

## 機械保全技能検定のモデルケース

学生のうちに2級まで合格することで、社会人歴が5年前後でも1級が取得可能！  
詳細の事例はP7をご確認ください。

	<p>職場の管理・ 監督者 13年目～</p>	<p>保全の方針を策定・決定できる 未然防止および事象の分析ができる 教育訓練計画の策定、実施、評価が行える</p>	<p>特級</p>
	<p>職場リーダー 8年目～</p>	<p>保全の計画立案および再発防止、未然防止ができる 経験に基づいた専門的な知識を現場で活かせる 部下の育成・指導をするために必要な知識がある</p>	<p>1級</p>
	<p>担当技能者 3年目～</p>	<p>機械保全の基本的な知識を現場で活かせる 異常を発見し、対応の手順と方法がわかる</p>	<p>2級</p>
<p>新入社員・学生 入社前後</p>	<p>教科書的な、機械の基礎的な知識がある</p>		<p>3級</p>

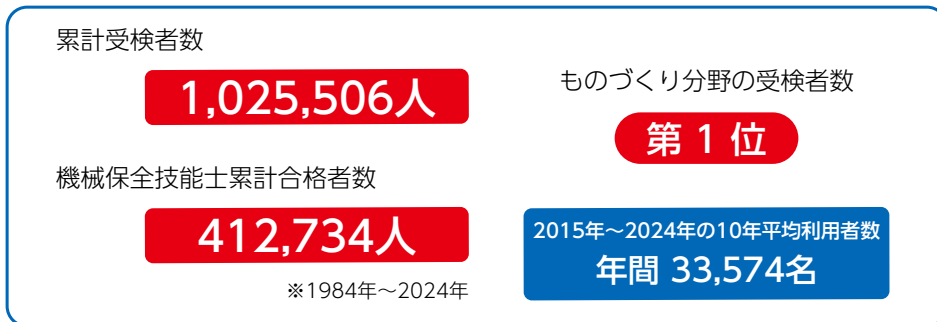
## 等級別の受検者層



# 多くの人を受検する目的やメリットは？

## 機械保全技能士を取得するメリット(在職者・企業)

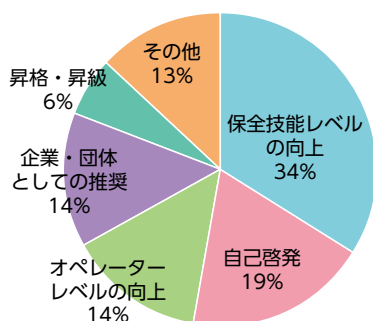
<ものづくり分野の国家検定でNo.1の受検者数>



その理由は？

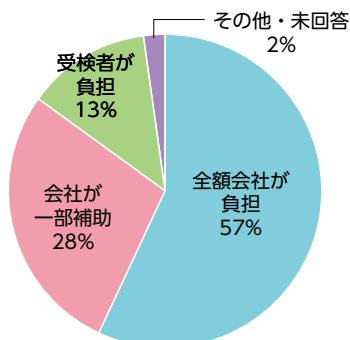


### 受検目的・動機



※企業担当者のアンケート結果

### 受検手数料の負担先



※受検手数料の一部補助の例  
・合格者のみ会社負担(報酬金支給 資格手当支給など)

受検手数料を負担する企業が、85%  
多くの企業が資格取得を後押しして  
いることがわかるね！

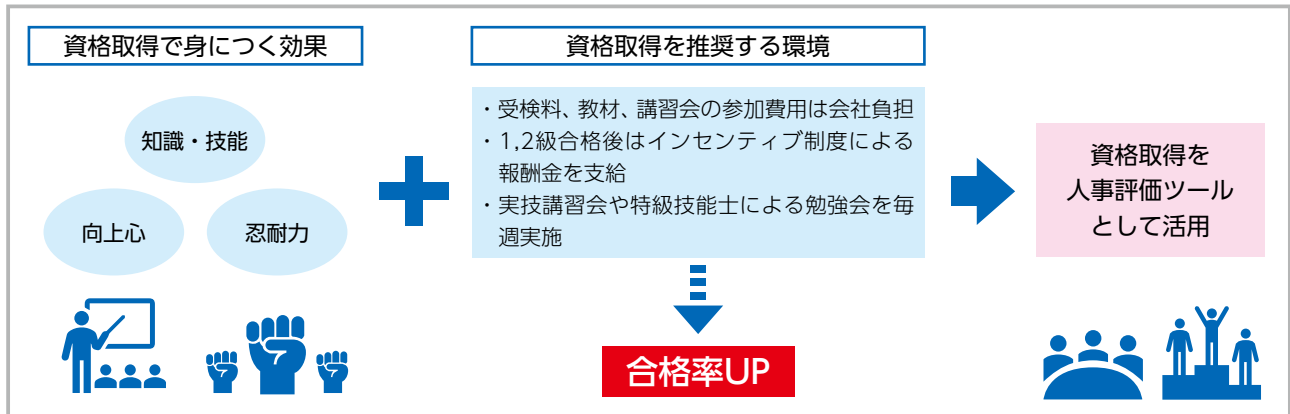


# 企業における資格取得の目的や活用方法は？

## 企業の活用事例

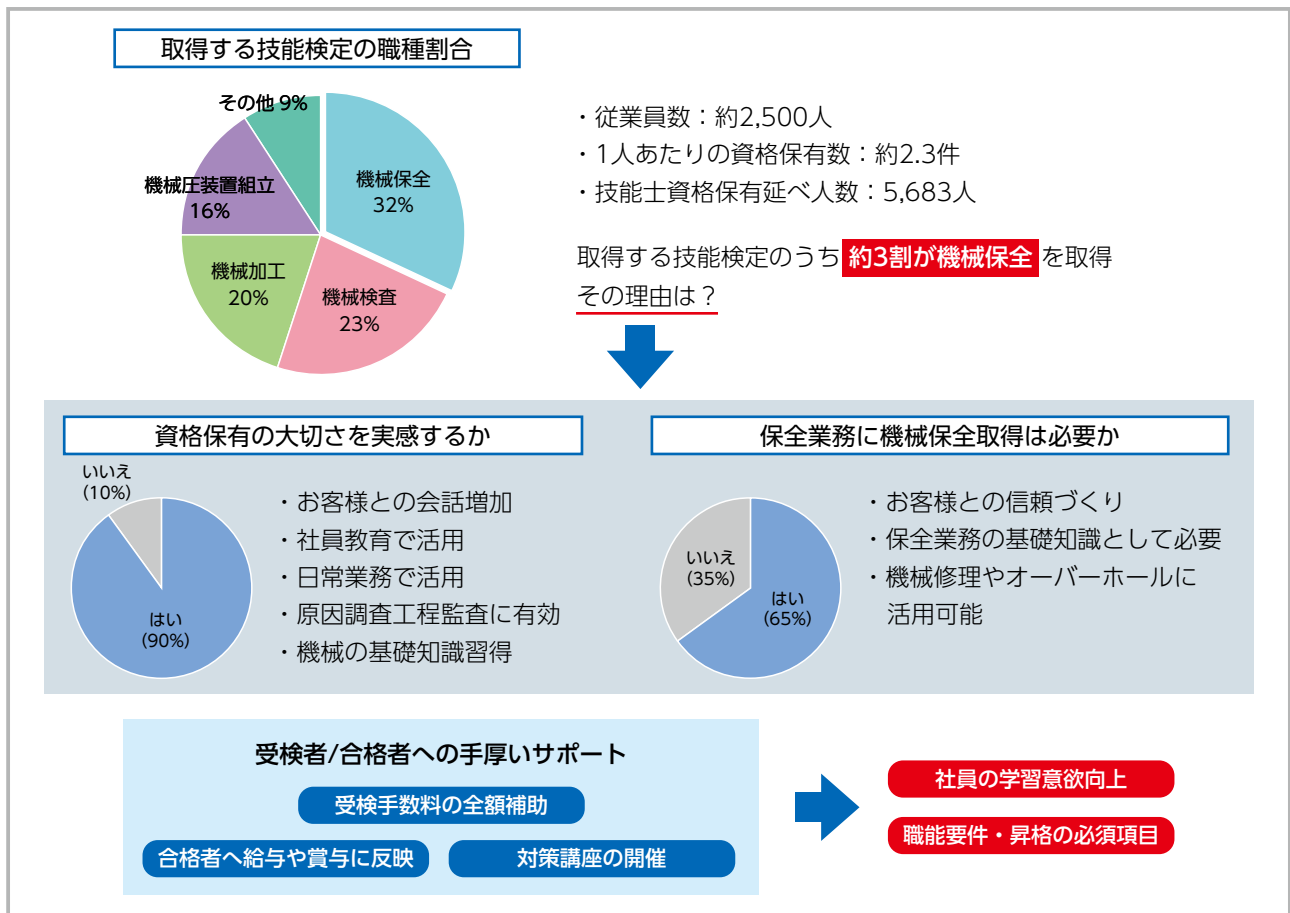
### 活用事例① 自動車製造メーカー（A社）

～ 人事評価ツールとして活用し、業務意欲向上につなげる ～



### 活用事例② 工作機械メーカー（B社）

～ “機械保全”等の技能検定を取得する重要性～



# 3級に学生の受検者が多い理由は？

## ギア 機械保全技能士を取得するメリット(学生・若年層)



### 工業高校の学習範囲が、3級レベルの資格勉強に

工業高校で学ぶ内容とリンクしている範囲が多いため、  
+αの試験対策で合格の可能性UP!!



### 他の技能試験との親和性

機械保全技能検定は、総合的な知識(設計・加工・検査・管理)を問うため、  
他の職種(機械加工・機械検査など)の技能検定と共通試験範囲も多く、取り組みやすい



### 企業が有資格者を歓迎

就職活動の自己PRで、資格取得の取組みを企業が評価!  
就職後も、スキルアップや昇給・昇進などのキャリアアップに役立つ!



### 3級は第1回・第2回試験の年2回受検可能

3級は受検機会が多いため、異なる職種の検定試験と  
合わせた資格取得スケジュールが計画しやすい!

#### 学生のメリット



学校の授業で学ぶ内容  
が多いため、基本的な知識  
を確認(学習)できる



第三者(国家)による公平な  
評価として、進学・就職活動  
に活用できる

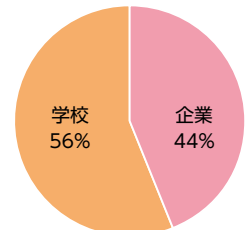
#### 就職後も広がるメリット



資格取得でしっかりとした土台  
があるため、生産/保全業務や  
現場力のレベルアップが早い



即戦力人材として、競争力強化  
に寄与(給与や賞与・昇格審査  
として評価される場合も)



3級

※個人区分の18歳以下は学校  
18歳以上を企業として分類

## 学校の先生・学生の方必見

学生向けサイトを随時更新中!

上記メリットの他にも、3級受検者の方へ向けた勉強方法などをご紹介します。



詳しくは機械保全技能検定公式サイト  
または下記QRコードからぜひご覧ください。

<https://gakusei.kikaihozenshi.jp/>

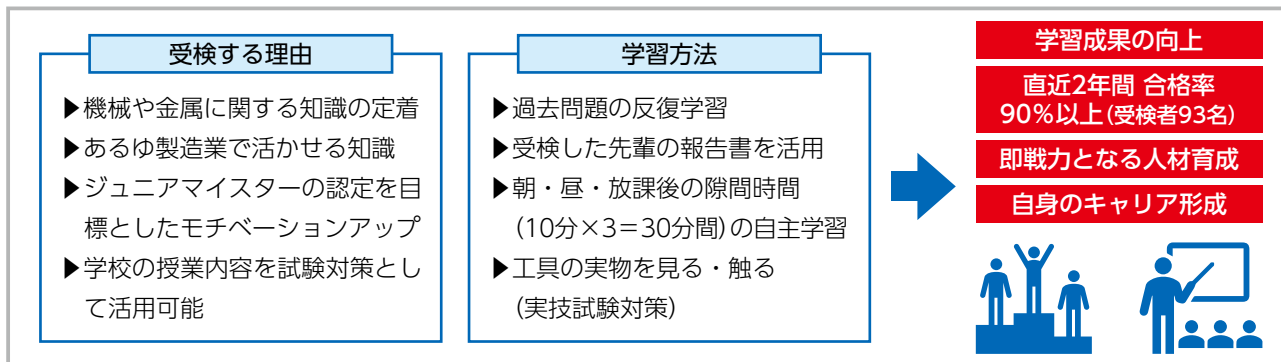


# 学校・学生における資格取得の目的や活用方法は？

## 工業高校・学生の取組み事例

### 取組み事例 広島市立広島工業高等学校

～ 製造業全体で活躍できる人材育成を目指した取組み ～



### 合格体験談 マツダ株式会社

～ 高校在学中に2級合格、入社4年目に1級合格の知識や経験を生産設備現場に生かす～

Sさん  
広島市立広島工業高等学校卒業

**機械保全技能検定取得歴**

- ・高校2年生 第1回試験 3級機械系保全作業合格
- ・高校2年生 第2回試験 2級機械系保全作業一部合格 (実技)
- ・高校3年生 第2回試験 2級機械系保全作業合格
- ・マツダ株式会社入社後4年目 1級機械系保全作業合格

高校在学中に将来は製造業へ就こうと考えており、就職前に機械の製造や部品を知っておきたいと機械保全技能検定を受検しました。  
在学中に資格取得をしていたので、入社後に実際の仕事をしてみると機械部品の名称や使用用途を知っていたことで設備の構造が頭にすんなり入ってきました。

### 企業担当者の声 株式会社SUBARU



株式会社SUBARU  
人事担当者

#### 学生へ向けたメッセージ

資格取得はモノづくりに対する興味・関心を持っている1つの証明となります。モノづくりに興味・関心がある方は、勉強する一つのツールとして機械保全技能検定を活用してみてください。学生のうちに得た知識や意欲は、必ず就職後も活かれます！

他にも企業・学校の取組み事例を公式サイトで紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://www.kikaihozenshi.jp/effort/>



# どうやって学習するの？

## 学習サポートツール

### 過去問題の掲載

公式サイトから、  
過去問題をダウンロード

<https://www.kikaihozenshi.jp/questions/>



↑  
過去3年分の問題を掲載  
(※非公開資料はご覧いただけません)

### 参考書籍のご紹介

参考書の例



※一部の書籍は、公式サイトに掲載  
※書籍等の内容に関して、機械保全技能検定事務局が保証するものではありません

## ものづくりマイスター(厚生労働省)

### ものづくりマイスターの活用

厚生労働省が認定した「ものづくりマイスター」は、高度な技能と長年の実務経験が有り、技能の指導ができる専門家です。

認定された全国一万人を超えるものづくりマイスターが、中小企業の若手技能者への「実技指導」や学校における「ものづくりの魅力」を伝えるため、丁寧にわかりやすく教えます。

<https://waza.mhlw.go.jp/monodukuri/>



専門講師を派遣し、先生の代わりに機械保全の勉強会開催  
※ものづくりマイスター制度は、“若年技能者人材育成支援等事業”(厚生労働省)のひとつ



※ものづくりマイスター制度の公式サイトでは、派遣専門講師の検索のほかに工業高校における機械保全講師派遣の事例等を掲載

# どんな試験？受検手数料は？

## 試験概要

		特級	1級	2級	3級	
作業		作業なし	機械系保全作業 電気系保全作業 設備診断作業	機械系保全作業 電気系保全作業 設備診断作業	機械系保全作業 電気系保全作業	
試験方式	学科試験	全作業共通 マークシート式	五肢択一・50問 (120分)	真偽法・25問 四肢択一・25問 (100分)	真偽法・25問 四肢択一・25問 (100分)	真偽法・30問 (60分)
	実技試験	機械系保全作業 マークシート式	—	判断等試験・8課題 (80分)	判断等試験・8課題 (80分)	判断等試験・7課題 (70分)
		電気系保全作業 ※一部マークシート式	—	制作等作業試験・2課題 (110分)	制作等作業試験・2課題 (110分)	制作等作業試験・2課題 (110分)
		設備診断作業 ※マークシート式	—	判断等試験・10課題 (100分)	判断等試験・8課題 (80分)	—
		作業なし	計画立案等作業試験・ 10課題(150分)	—	—	—
合格基準	学科試験	加算法で100点満点として 65点以上の場合、合格	加算法で100点満点として 65点以上の場合、合格	加算法で100点満点として 65点以上の場合、合格	加算法で100点満点として 65点以上の場合、合格	
	実技試験	減点法で41点以上の減 点がない場合、合格	減点法で41点以上の減 点がない場合、合格	減点法で41点以上の減 点がない場合、合格	減点法で41点以上の減 点がない場合、合格	

実技試験の実施方法や試験科目およびその範囲の詳細、受検資格の短縮、試験の免除については公式サイトをご確認ください。

詳細：<https://www.kikaihozenshi.jp/points/>

## 受検手数料

受検手数料(非課税)は下表のとおりです。(2025年4月時点)

<特級・1級・2級>

受検区分	受検手数料(非課税)
学科試験・実技試験両方の受検	20,000円
学科試験のみ受検	4,600円
実技試験のみ受検	15,400円

<3級>

減免される条件	実技試験	学科・実技試験両方
①学割減免(23歳未満の学生)	6,200円	10,800円
②在職者減免(23歳未満の在職者)	7,700円	12,300円
③減免(23歳未満の学生、在職者でない)	11,600円	16,200円
④学割(23歳以上の学生)	10,000円	14,600円
⑤一般(①～④に当てはまらない)	15,400円	20,000円

※決済方法により事務手数料(10,000円未満は330円・税込、10,000円以上は440円・税込)または振込手数料(課税対象)が別途必要です

※23歳未満とは、4月1日時点での年齢です

※在職者とは、受検申請最終日時点で在職している方です

※学生とは、学校教育法の規定による学校の在籍生、あるいは職業能力開発促進法の規定の施設で職業訓練を受けている方で、受検申請最終日時点で在籍している方です

# 試験はいつ受検できるの？

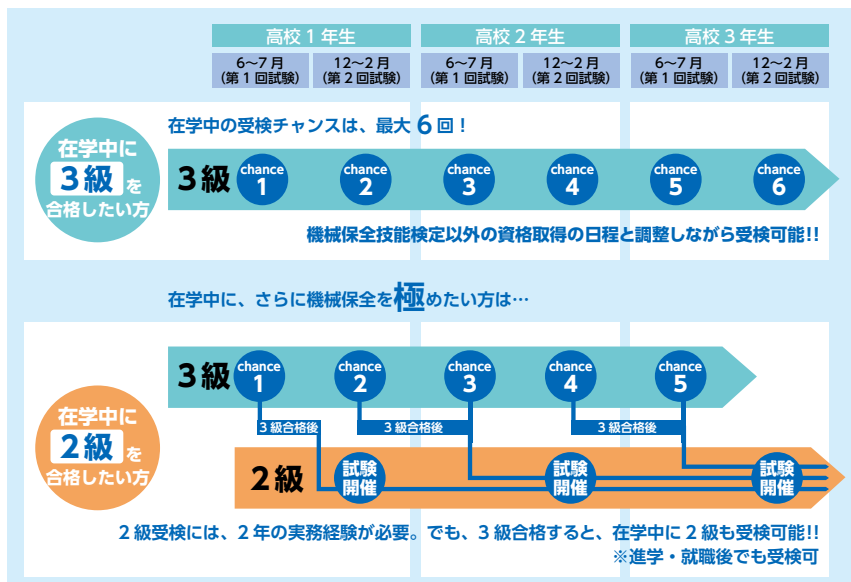
## 年間スケジュール(予定)

毎年3月に次年度試験の実施公示(試験日や受検手数料)を公開します。  
 その他詳細は受検案内または機械保全技能検定公式サイトをご確認ください。

3月		4月		6月		7月		8月		9月	
第1回試験(3級)		試験概要公開		受検申請期間		電気系保全作業(実技) ※期間中の複数日程で実施		試験結果発表		合格証書発送	
				学科・実技試験(全国統一日) 午前: 学科試験(全作業) 午後: 実技試験(電気系保全作業以外)							
8月		9月~10月		12月		1月~2月		3月		4月	
第2回試験(全等級)		試験概要公開		受検申請期間		電気系保全作業(実技) ※期間中の複数日程で実施		試験結果発表 ※電気系保全作業以外は1月より随時結果公開		合格証書発送	
				2級 学科・実技試験(全国統一日) 午前: 学科試験(全作業) 午後: 実技試験(電気系保全作業以外)		特/1/3級 学科・実技試験(全国統一日)					

※3級は第1回試験・第2回試験の両方で開催します

### 3級を受検される方へ



3級は年2回受検機会があるため、特に就職活動などで活かしたい学生や保全業務の基礎知識を身につけたい在職者の方は参考にしてね!



**詳しくは、機械保全技能検定公式サイトへ！**

機械保全

検索



<https://www.kikaihozenshi.jp/>

